





IAI日本支部勉強会981105

1. 日本支部活動・トピックス1

- A/E/C SYSTEMS JAPAN'98にて
IFCR1.5のデモ（大盛況）
 - ・ インプリ+意匠分科会で対処
 - ・ 本日セミナーのメイン・テーマ
- 雑誌等で話題
 - ・ 日経CG10月号「特集：建築業界を大きく変えるオブジェクト指向のCAD」
 - ・ パドマガ10-11月号「IFC1.5対応ソフトが国内初登場！」
 - ・ 日経アーキテクチュア10月5日号「民間建設で試される“CALCの力”」
 - ・ 建築技術6月号「特集：建築と情報技術」
 - ・ 橋梁 Volume34 1998年10月号
「建設CALC/ECとCADデータ交換の標準化動向」
など

3



IAI日本支部勉強会981105

2. 日本支部活動・トピックス2

- 日本もSTFメンバーを決定
 - ・ セコム情報（足達様）
- 来年1月から
- ニュースレターVol.2（Oct,98）作成
 - ・ 内容（A/E/C SYSTEMS JAPAN'98関連、インプリから実証実験報告、国際会議報告、世界の動き、IFC最前線、テクニカル・ワンポイント、特別掲載）
- 他活動団体で話題
 - ・ 今後は、STEP関連との国内での協調
 - ・ CI-NET、建設CADデータ交換コンソーシアムなどとの協調

4



3. 分科会活動報告

- 意匠・クロスドメイン
 - A/E/C SYSTEMS JAPAN'98参加（ユーザ側の立場）
 - 今後はテストモデルを使った検討
- 構造・施工
 - R3.0仕様をドラフト仕様書を作成中
- 設備・FM
 - R2.0の検討、他国との連携
- 土木
 - ドイツの作成仕様を検討
- インプリメンテーション
 - A/E/C SYSTEMS JAPAN'98出展と
その後に問題点抽出
 - R1.5.1 or R1.5.2の検討



4. 今後の技術課題

- (1) 静的データ交換から動的データ交換へ
 - 分散オブジェクトDB上での実現
 - DOCMやCORBAなどの期待
- (2) 3次元モデルと2次元図面の関係
 - DXF- II の開発実現
 - 3次元建物モデルと2次元図面データのIDを共通化し、連動を取る。
- (3) R2.0・R3.0・R4.0の実現
 - 仕様範囲の拡張
 - スケジュールの調整



5. IFCの可能性

IAIの目的はデータ共有と相互運用だが
具体的には、以下の次世代情報化を実現する

- (1) 3次元CADの実現
 - 3次元機能の必要性をクリア
- (2) オブジェクト指向CADの実現
 - 直感的な部材操作のインタフェース実現
- (3) インターネット上のCAD実現
 - 非同期のデータ共有化
- (4) コンカレントCADの実現
 - 同期を取るデータ共有化
- (5) インテグレーションCAD環境の実現
 - non-CAD系も含めた統合化を実現



6. おわりに

IFCは

.....